

【新十津川町】

新十津川町は、道央空知^{そうち}のほぼ中央部の石狩川沿いに位置し、人口約7千人を有します。主要産業は農業で、稲作を中心に麦、大豆、そばなどの穀物、玉ねぎ、アスパラなどの野菜、さらにメロンや花きなど多様な農作物が生産されています。

奈良県吉野郡十津川村で1889年に起きた十津川大水害の被災民が現在地に入植し、新十津川村と称した地です。町民は、新郷土建設に邁進^{まいしん}した歴史を大事にしながら「明るい希望が輝くまち」を創つていこうと、住民と行政との協働によるまちづくりに取り組んでいます。

【調査概要】

調査を行った総合健康福祉センターゆめりあは、町民が健康で明るく生活をするために必要な保健や予防、健康的な身体づくり、生きがい学習の支援、介護、福祉サービスに関する助言のほか、障害者や高齢者の自立した生活の維持を側面から支援できる機能を併せ持った複合施設と位置づけられています。

人口約7千人の自治体ですが、建設費に約23億円の巨費をかけて建設しています。オープンまでに、4年もの歳月をかけ協議を重ねたことで、町民の反響も非常にいいとのこと



新十津川町

ありました。施設内には、町民の利便性を図るための保健福祉課、社会福祉協議会、在宅介護支援室のサービス機能が設けてあり、細やかな行政サービスが行き届いていると実感いたしました。

本市においても保健、福祉、医療の総合的な施設整備の必要性を強く感じます。本市が掲げる総合福祉保健センター建設構想については、建設に向けて、市民が望む建設構想の実現の第一歩を踏み出すべき時期であると思いました。



自民党本部へ要望

西九州自動車道
整備促進特別委員会

去る平成26年11月26日と27日の両日に伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の活動計画に基づき、各市町の議長、正副委員長による中央機関等への要望活動を行いました。

特別委員会の動き

国土交通省、財務省及び自民党本部並びに長崎と佐賀両県選出国會議員事務所を訪問し、唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路及び松浦佐々道路の早期完成とそれに伴う道路整備予算の安定的な財源確保について要望いたしました。



国会議員へ要望